

全学年での部活動がスタート！何を学ぶか？

4/21に部活動編成があり、1年生が正式に入部しました。GW前後に入部していたひと昔前に比べると、随分と早くなりました。短期間でしたが、1年生は多くの部活動を見学・体験入部して決めることができたでしょうか？今年度の入部状況は以下の表の通りです。

部名	1年	2年	3年	合計
陸上	4	4	4	12
ソフトテニス男子	7	7	7	21
ソフトテニス女子	2	0	6	8
野球	2	0	3	5
バレー ボール	8	7	2	17
卓球	7	6	4	17
美術	4	7	11	22
メディア	0	1	1	2
【入部率 86%】	34	32	38	104

現在、公立中学校の部活動は大きな転換期を迎えています。学校で顧問の先生が教える形から、地域に根ざしたスポーツクラブなどに任せる地域移行が急ピッチで進んでいます。三豊市は観音寺市と足並みを揃えて、令和9年度から休日の部活動を地域移行する放課後改革を明言しています。狙いは働き方改革と少子化への対応にあるわけですが、部活動の指導を希望して中学校教師を選んだ自分としては、複雑な思いで地区や県の中体連の仕事をしています。それは、自分自身が経験してきたように部活動には大きな価値があると思うからです。私には忘れられない中学生時代の教訓があります。中1の時の先輩たちは県総体で優勝し、四国総体で2位になりました。新チームになった数日後に顧問の先生が、「男子は過去一番の成績だったけれど、人間性は過去最低のチームだった。女子は県大会にも行けなかつたけれど、人間性はとても素晴らしいチームだった」と話されました。確かに男子の先輩たちは勉強も優秀、走っても県1位、後輩の自分たちから見てもすごい人たちばかりでした。でも、下校時に毎日のように買い物をするなど、違反行為を繰り返しているのを私たち後輩だけでなく、顧問の先生も知っていたのです。私はこの時に、「いくら強くても、人間性を批判されるようなチームであってはいけない」と学びました。

大学卒業後、教師として部活動指導を始めた私は、「〇〇中部員として、バスケットボールを通して3年間で何を学ぶのか？」「チーム・チームメイトを大切にする心を養う」「チームの決め事は責任をもち絶対に守る」を3本柱に、「まじめに一生懸命にすること」を最も大切にしながら、部活動から学びを得てもらうために子どもたちと多くの時間を過ごしてきました。本校の子どもたちも、3年間の部活動経験を通して、多くの学びや価値を得てくれることを願っています。

確かな学力

今年度は「生徒用タブレットの活用率50%以上」が1つの校内目標です。新しい先生方も増えたので、現在の使用状況を確認してみると、数学や社会の時間にQubenaを利用して、基礎基本的な内容の確認や応用問題への対応を行っていました。写真は1年生の社会科の授業の様子です。今後、色々な活用方法を試みながら、最終的に目標達成をめざします。



豊かな心

今年度初となる被災地支援ボランティアを行いました。今回は七尾市に届ける土のう袋の作成に、1年生6名を含む13名が参加しました。仁尾・曾保の両小学校にも協力をお願いしたところ、快く引き受けてくれたので、合計17枚の土のう袋が完成しました。GWに七尾市でのボランティアに参加するので、直接現地に届けます。ご協力、ありがとうございました！

